

レジメン名 (治療名)					
CBDCA+VP16+デュルバルマブ					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
小細胞肺癌	CBDCA+VP16 +デュルバルマブ	■入院 ■外来	■進行・再発 □術後補助化学療法 □術前補助化学療法	□大量化学療法 □局所化学療法 □その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	デュルバルマブ	1500mg/body	点滴静注	60分	Day1
2	カルボプラチン【CBDCA】	AUC=5	点滴静注	60分	Day1
3	エトポシド【VP16】	80-100mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	120分	Day1~3
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3~4週間ごと 維持療法は4週間ごと			
総コース数及び総投与量の限界		4コース以降は維持療法へ移行。維持療法は制限なし。			
プレメディケーション ポストメディケーション		デキサメタゾン、クロルフェニラミン、ファモチジン、パロノセトロン			
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・CBDCA 投与量は Calvert の式から算出する。</li> <li>Calvert の式：CBDCA 投与量 (mg/body) = AUC × (GFR+25)</li> <li>・原則 4 コースではあるが、6 コース目までは主治医の判断で許容。</li> <li>4 コースを超えて実施は再度 SCr、体表面積を確認する。</li> <li>・VP16 の投与量は患者の年齢、PS、投与間隔を考慮して設定。</li> </ul>			

≪投与順≫

Day1

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	50mL	
	デュルバルマブ	1500mg	60分
(3)	生理食塩液	50mL	30分 (2回目以降5分〜短縮可)
(4)	生理食塩液	100mL	
	パロノセトロン 0.75mg	1V	
	クロルフェニラミン 5mg	1A	
	ファモチジン 20mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	1V	30分
(5)	5%ブドウ糖液	250mL	
	カルボプラチン	AUC=5	60分
(6)	生理食塩液	500mL	
	エトポシド	80-100mg/m <sup>2</sup>	120分
(7)	生理食塩液	50mL	5分

内服制吐剤：Day1 アプレピタント 125mg 1錠分1

Day2-3 アプレピタント 80mg 1錠分1

Day2、3

(1)	生理食塩液	100mL	
	クロルフェニラミン 5mg	1A	
	ファモチジン 20mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	1V	30分
(2)	生理食塩液	500mL	
	エトポシド	80-100mg/m <sup>2</sup>	120分
(3)	生理食塩液	50mL	5分

維持療法 イミフィンジ単剤

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	50mL	
	デュルバルマブ	1500mg	60分
(3)	生理食塩液	50mL	30分